

エスアールジータカミヤ株式会社

平成 22年 3月期 第 2四半期 決算説明会資料



SRG Takamiya
SUPER RENTAL GROUP

平成22年3月期 第2四半期 連結業績

(単位:百万円)

	H21.3期 2Q		H22.3期 2Q		対前年 増減率
	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	7,702	-	7,141	-	-7.3%
営業利益	954	12.4%	491	6.9%	-48.5%
経常利益	914	11.9%	412	5.8%	-55.0%
当期純利益	372	4.8%	235	3.3%	-36.7%
一株当たり純利益	33.63円	-	21.77円	-	-
一株当たり配当金	-	-	-	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	1,229	16.0%	1,271	17.8%	3.5%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	2,183	28.4%	1,763	24.7%	-19.3%

注) EBITDA」は、簡便的に「営業利益 + 減価償却費」にて算出しております。

平成22年3月期 第2四半期 決算ポイント

《損益計算書》

- ・機材センター開設により一時的に販管費が増加。
- ・機材センター閉鎖決定による固定資産の減損処理を特別損失に計上。

《貸借対照表》

- ・経年化機材の入替えは一巡、新規機材への投資継続により賃貸資産が増加。

《CF計算書》

- ・賃貸資産取得の減少と法人税支払額が減少したことにより営業キャッシュフローがプラス。
- ・貸倒引当金の増加。

【㈱石島機材製作所子会社化による連結決算への影響】

- PL ... 「負ののれん」を特別利益に計上。
- BS ... 総資産額が約10億円増加。株式取得資金で借入金8億円の増加。

New から Renew へ

**耐震補強工事を含め維持・補修市場が拡大
建設技術の向上により建物の長寿命化も進む**

建設市場は「リニューアル」へ

New から Renew へ

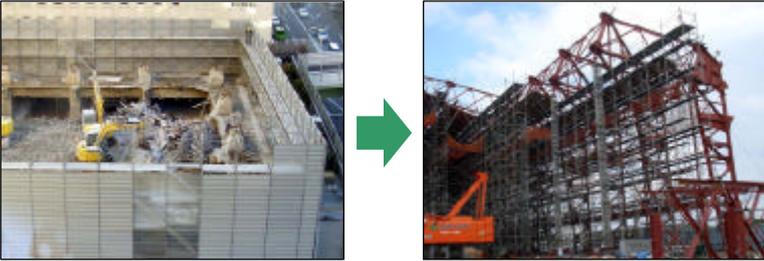
縮小傾向の国内建設投資額は平成 20 年末から加速

- リーマンショック以降、住居用建物を中心に不動産開発が激減。
- 企業業績の悪化による設備投資の抑制。
- 政権交代による政府投資政策の見直し。

新築物件が大幅減少

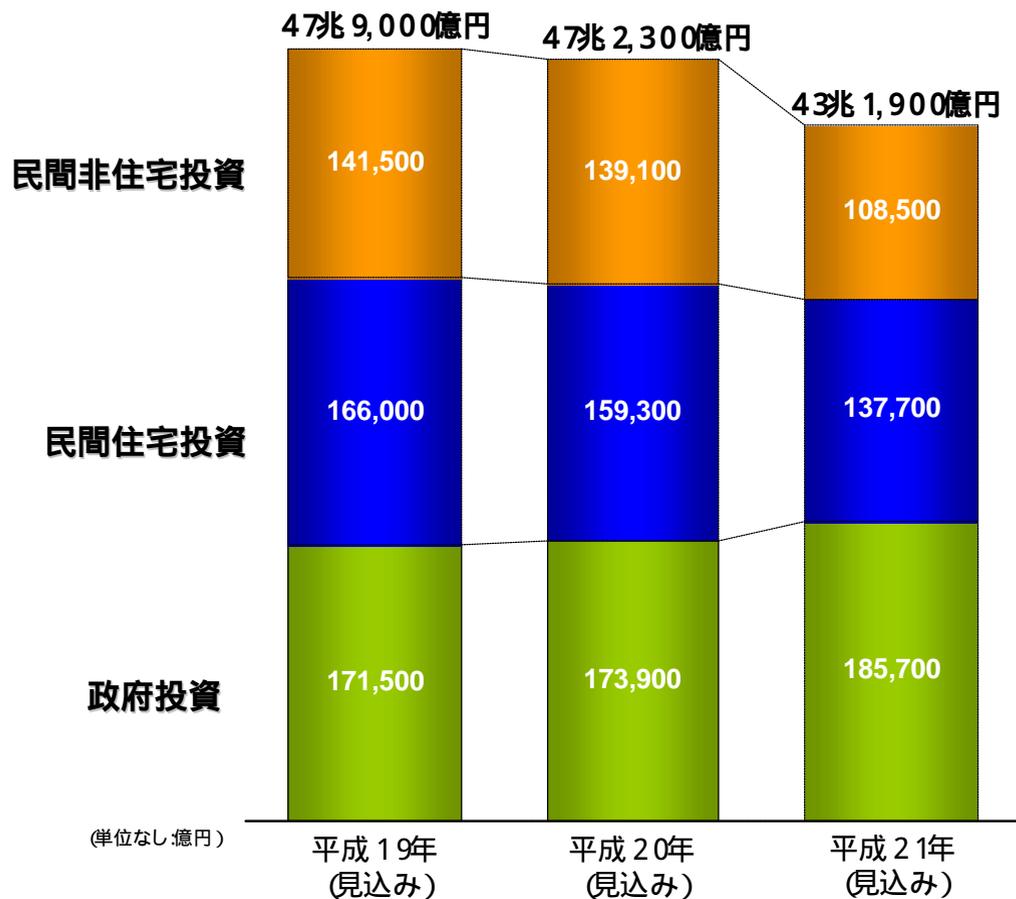
リニューアル工事分野

改修工事、修繕工事、耐震化工事など「リニューアル工事」に注力

橋梁（橋脚）	耐震補強 公共施設	集合住宅	プラント定修
			
<p>建替え（解体 改築）</p>		<p>耐震補強工事は 橋梁・オフィスビル・学校など などあらゆる建設物で 進められています。</p>	
			

New から Renew へ

国内建設投資額推移 (建設経済研究所資料より)



建設投資見込額

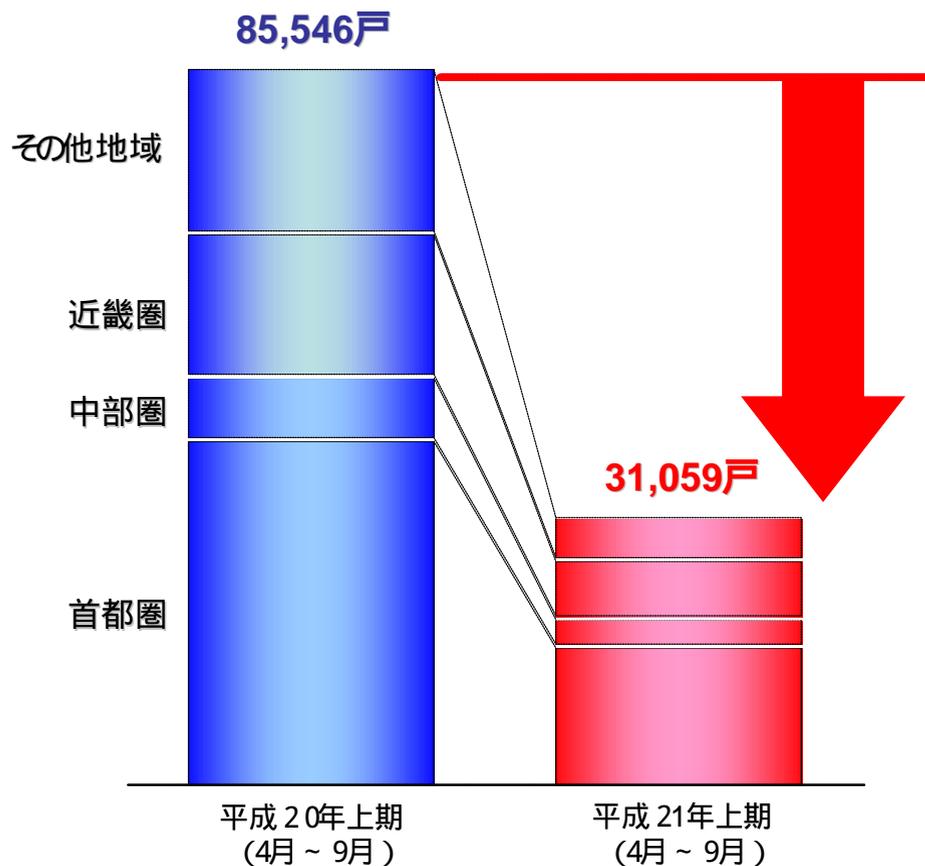
平成19年 47兆9,000億円

↓ 10%減

平成21年 43兆1,900億円

New から Renew へ

マンション着工戸数推移 (国土交通省資料より)



前年同期 (4月 ~ 9月) 比
マンション着工戸数

約64%減

New から Renew へ

民間非住宅建築着工床面積の推移

(建設経済研究所資料より)

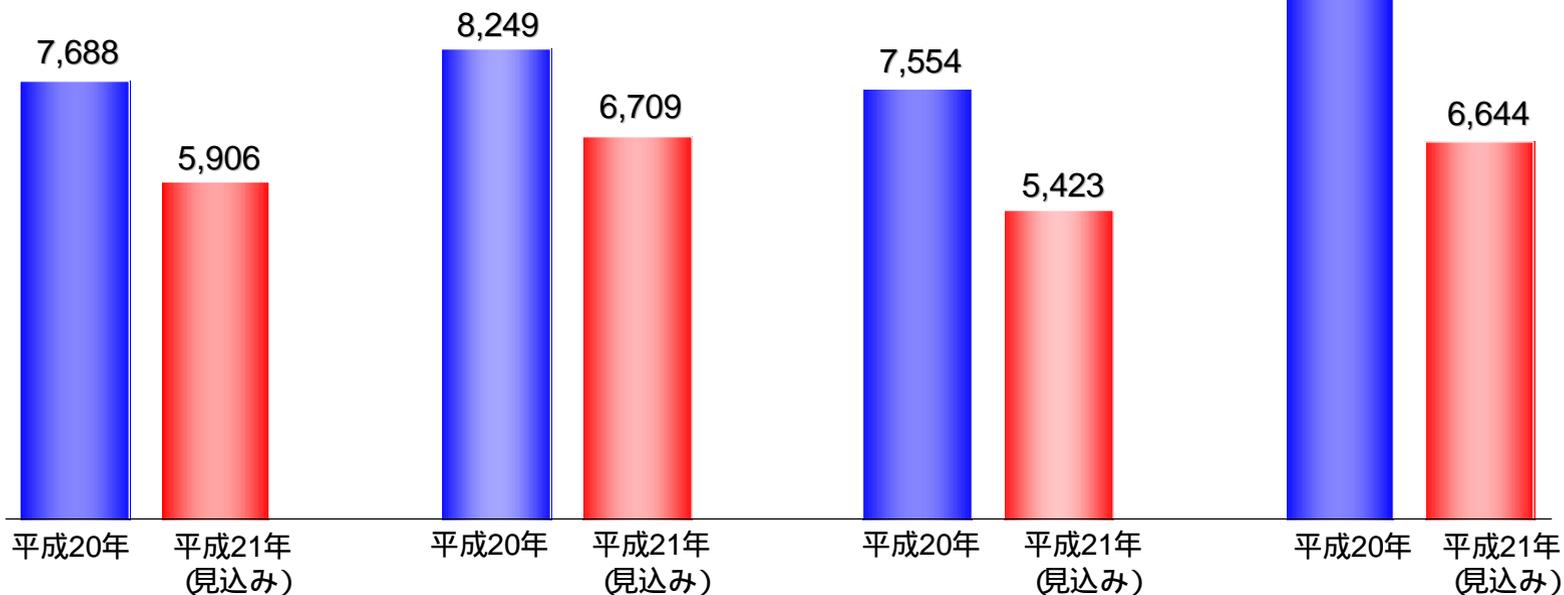
オフィス
23.2%

店舗
18.7%

倉庫
28.2%

工場
47.2%

(単位 :千㎡)



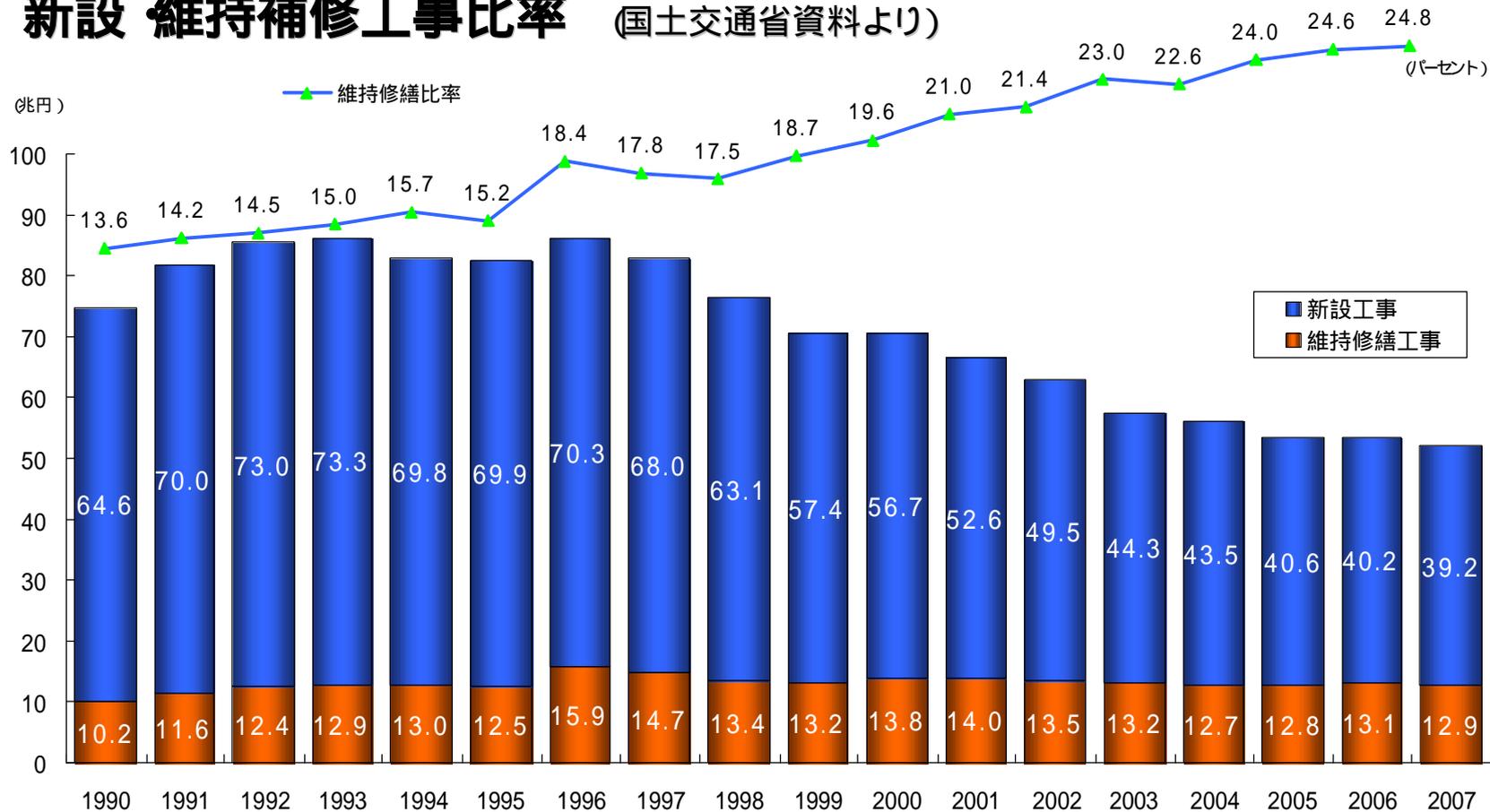
New から Renew へ

一方、維持補修市場は安定・成長期待

- バブル期に建設された高層マンションの大規模修繕時期が到来。
 - ・平成 25年に急増し、平成 35年には年間 160棟が発注の見込み
- 橋梁老朽化による崩落の危険性が指摘され、改修 架け替え需要増見込み。
 - 橋梁保全市場は平成 19年度において前年比 13.8%増の2017億円。
 - 橋梁工事市場の約 17%を占める成長。(橋梁市場成長は前年比 6.8%)

New から Renew へ

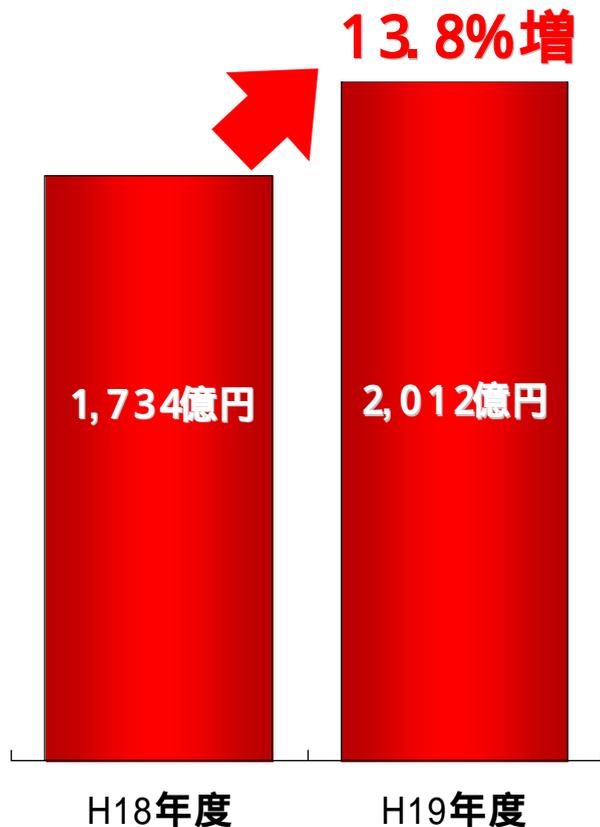
新設 維持補修工事比率 (国土交通省資料より)



(出所:国土交通省)

New から Renew へ

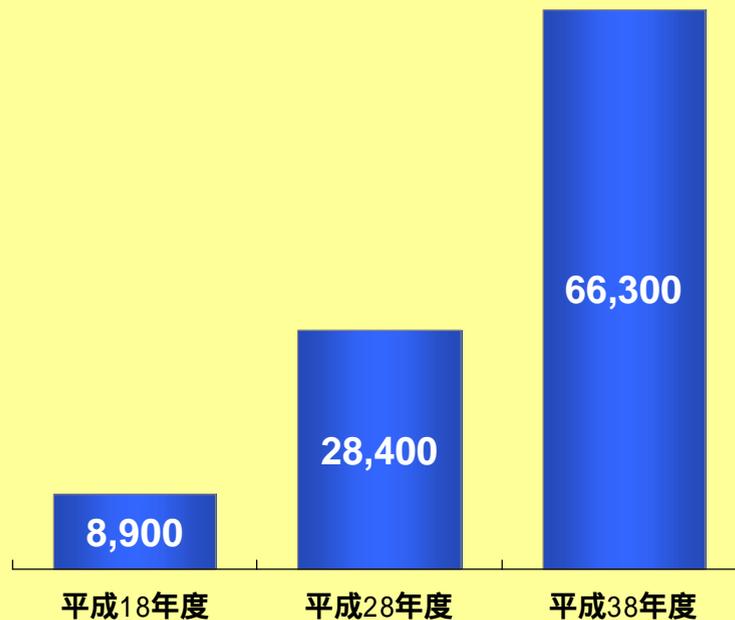
橋梁保全工事市場規模



一般的に橋の寿命は50年とわれ崩落が危惧されています。

建設後50年以上経過する橋の数

経年化に加え、耐震上不安視されている橋が多数存在し、橋脚の耐震補強工事等が実施されています。



注) H18年度市場規模は、橋梁新聞資料を元に当社で算出 (橋梁新聞資料より)

New から Renew へ

高層マンション大規模修繕工事

平成 35年には
年間 160棟の修繕工事が発生すると予想

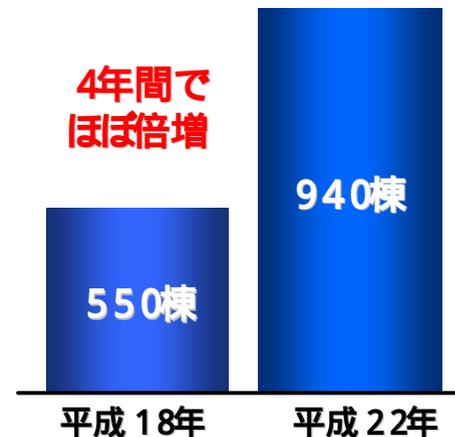
(東京カンテイ資料より)



(参考)マンション大規模修繕工事の時期は、竣工後 10～15年と言われています。
主に屋上防水シートの保証期間が10～15年で、そのタイミングに合わせて修繕工事をするため。



60メートル以上の高層マンション数



New から Renew へ

移動昇降式足場工法

「リフトクライマー」(通称:ワークプラットフォーム)



200mの高層建築物に対応

(特徴)

- 組み立て解体までの施工がスピーディ
- 工事中のプライバシーを確保
- 工事中の防犯対策
- 窓からの景観を損なわない



移動昇降式足場工法 「リフトクライマー」

「リフトクライマー」は環境配慮型の画期的な足場工法です。

住環境を損なわない

施工箇所に足場が移動するので、施工箇所以外の日照や景観を損なうことはありません。長期にわたる大規模修繕工事でもストレスを感じさせません。



従来工法
(枠組足場 + 養生シート)



昇降式足場工法
(リフトクライマー)

自然環境にも配慮

CO₂ (二酸化炭素) 排出の一因となるトラックによる運搬も部材数量が従来工法に比べ少ないため削減できます。



環境問題にも貢献

ダイオキシン問題で対応が急がれる煙突解体工事においても、足場の設営解体が短期間で可能なため、多くの工事が実施可能となります。



安全性にも優れているため
工事作業 環境も改善されます。

リフター施工事例



マンション大規模修繕



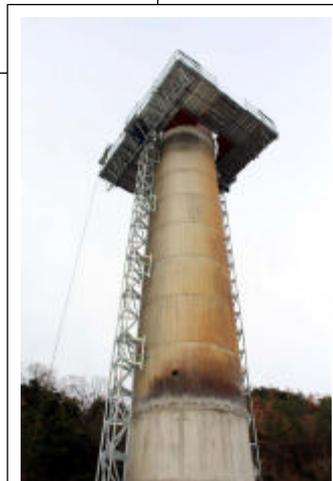
オフィスビル新築



倉庫建設



橋脚修繕



煙突解体

平成22年3月期以降の成長戦略

成長が見込まれる「ニューアル」市場に軸足を移行

- *New* から *Renew* へ

新たな市場への積極的な展開

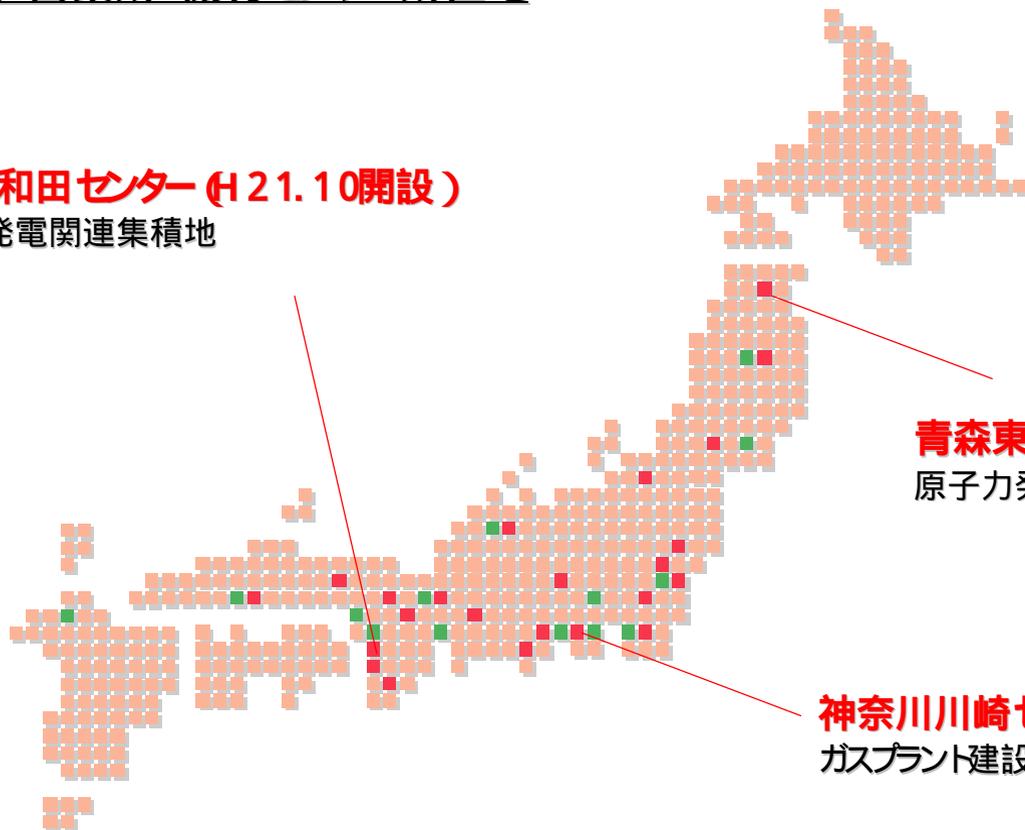
- CO₂排出規制により「新型エネルギー」分野が注目される
 - ・原子力発電 / 太陽光発電 など
- 「ゲリラ豪雨、大型地震」などに備える「防災関連」・「災害対策」
 - ・地下貯水施設、雨水溝拡張など
 - ・地すべり防止 斜面防災工事

エネルギープラント集積地を中心に積極出店

支店・営業所 機材センター所在地

大阪岸和田センター (H21.10開設)

太陽光発電関連集積地



■ 支店・営業所

■ 機材センター

青森東通センター (H20.12開設)

原子力発電所建設 (原子力関連集積地)

神奈川県川崎センター (H21.7開設)

ガスプラント建設予定 (国内最大プラント集積地)

新たな市場獲得のための戦略投資

シールド工専用仮設機材レンタル 株式会社石島機材製作所』を買収 子会社化



IRニュース

2009/08/31

子会社の異動を伴う株式譲渡契約締結に関するお知らせ

当社は、平成21年7月2日付けにて締結いたしました、株式譲渡に関する基本合意書」に基づき、平成21年8月31日開催の取締役会において、株式会社石島機材製作所の全株式を取得し子会社することを決議し、株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

(以下、省略)

平成22年3月期以降の成長戦略

成長が見込まれる「ニュー」市場に軸足を移行
新たな市場への積極的な展開

既存市場でのシェア保持

- 安全性・施工性・環境配慮に優れた機材で大手建設会社との取引を拡大
- 技術力と圧倒的な機材保有力で橋梁分野でのシェアを堅持

セifteイワーク



足場板の裾や隙間をなくす事で、部材・工具等の落下を防止し、つまずきや転落事故を未然に回避します。

スカイホルダー



従来建柱に簡単に取付け可能なスジカンの隙間を埋める二段手すり

SPジョイント



パイプを簡単にジョイントできるだけではなく、ロックを目視できる安全商品です。

スカイヤック



耐荷重設計で作業者の落下を防ぎ、安全確保の為に厚生労働省が策定した手すり先行工法対応商品です。

ロック付チェーン



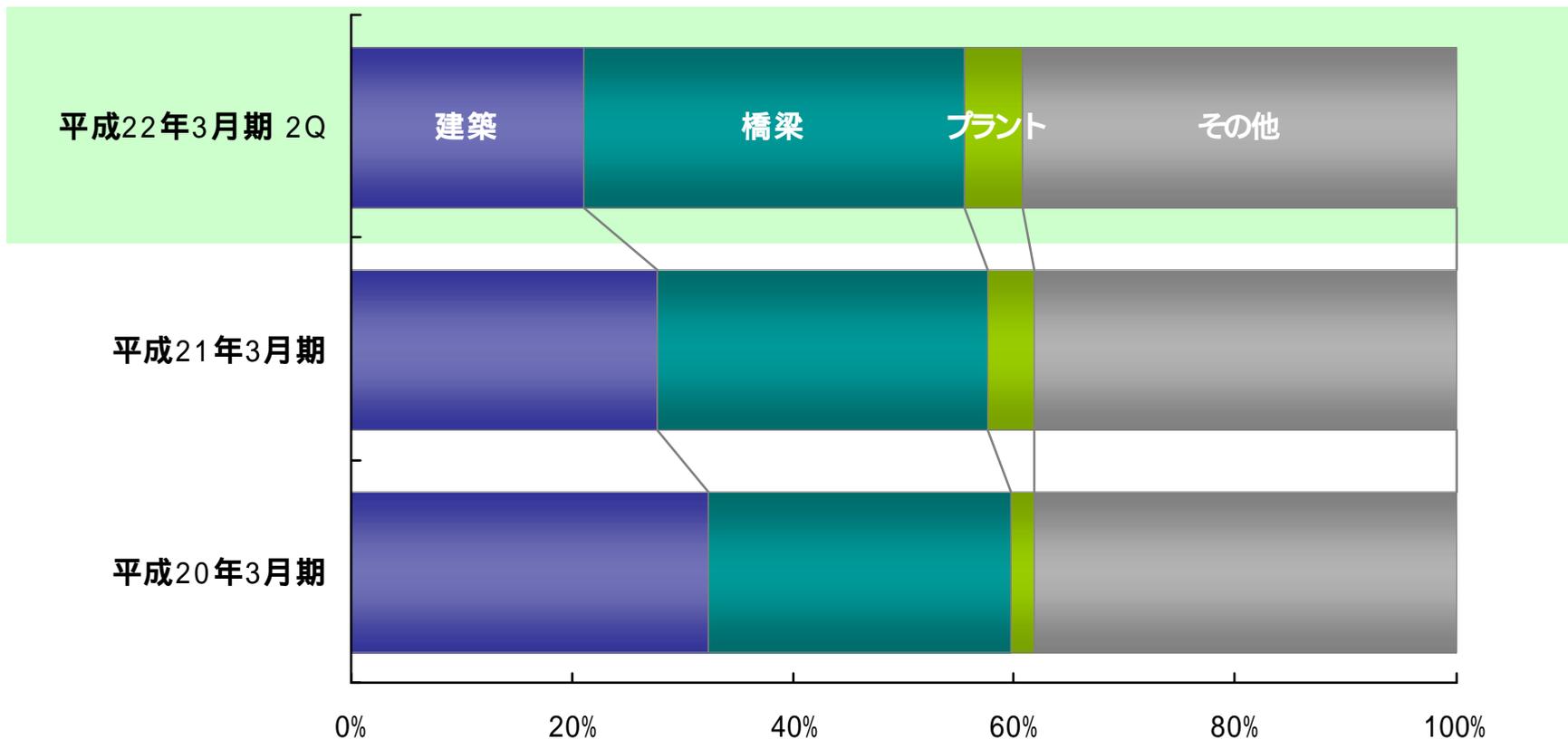
取り付けたフックが外れない安全構造となっており、脱落防止措置が不要な為、施工性も向上する新機能商品です。

ネオシステム



組枠式手すり先行専用足場。先行手すり二段手すり内蔵の厚生労働省ガイドライン準拠商品です。

SRGタカミヤ 工事分野別売上高構成比



(その他には子会社売上高等が含まれます。)

建築から方ント 維持補修市場に軸足を移す。橋梁シェアは堅持。

	建築 (新築)	橋梁 (新築)	土木	方ント	修繕	防災
市場性						

SRG シェア						
SRG 注力	(維持)		(シールド分野)			

(表の矢印、記号は当社判断です。)

平成22年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	平成22年3月期 予想		対前年 増減率
		売上高比率	
売上高	15,600	-	+1.7%
営業利益	1,570	10.1%	-12.7%
経常利益	1,350	8.7%	-15.9%
当期純利益	750	4.8%	+46.0%
1株当たり当期純利益	69円25銭		
1株当たり配当金	20.00円		

注)通期予想は平成21年10月30日
発表いたしました修正予想となります。

(修正点)
営業利益
1,860百万円 1,570百万円

経常利益
1,620百万円 1,350百万円

通期において、地域子会社を取り巻く
市場環境が先行き不透明な状況であ
ることから、厳しい受注環境を想定し、
営業利益及び経常利益が当初の予
想を下回る見込みとなりました。

IRコンタクト

エスアールジータカミヤ株式会社 経営企画室 広報・IR担当 川畑

電話番号： 06-6375-8815

ファクシミリ： 06-6375-8827



当社IRサイト <http://www.srg.jp/ir/index.php>



HP： <http://www.srg.jp/>

E-mail： ir@srg.jp

住所： 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー21階

本資料は、平成22年3月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き平成21(2009)年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。

会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社	
設立	昭和44 (1969) 年6月21日	
代表者	代表取締役社長 高宮一雅	
資本金	6億7,975万円	
従業員数	連結 :455名 単体 :344名 (平成21年9月末時点)	
登記本社 営業拠点	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー 【支店】 東北仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、兵庫、九州福岡 (計7) 【営業所】 盛岡、鹿島、市原、川崎、北陸、京滋、広島 (計7) 【機材センター】 青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、新潟横越、茨城水戸、茨城出島、茨城鹿島、千葉柏、千葉市原、埼玉久喜、神奈川川崎、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、名古屋瀬戸、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、大阪関空、和歌山桃山、兵庫東条、広島志和 (計23)	
連結子会社	(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック (株)青森アトム、(株)石島機材製作所 (計8)	
株式上場	平成17年05月 JASDAQ証券取引所 (注)平成20年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました 平成19年12月 東京証券取引所市場第二部	